

なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



どうして

アミダさまを

おがむの？

「わたくしたちは みほとけさまをおがみます」とおやくそくをします。言葉にして約束するのですから子どもたちにはどうして拝むのか、拝むということはどういうことなんだろうと疑問が湧いてきます。そんな時なんて答えますか？「お参りをする時のきまりだから、作法だから拝むのよ！」では子どもたちへの答えにはなっていないですね。どうしてという好奇心を大切にしたいものです。

では、ここで整理しましょう。ひとつは《拝むということはどういうことなのか》ふたつめは拝む対象の《アミダさまがどういうお方なのか》この2点について『食事のことば』をとりあげて考えてみます。「多くのいのちとみなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。深くご恩を喜び、ありがたくいただきます」と唱和いたします。

まず、拝むとはどういうことなのか、「いただきます」は「拝む」姿勢で行います。敬いの気持ちをもって食べ物をいただくということです。「深くご恩を喜び」とは、目に見えないおかげさまのはたらきに感謝して喜ぶことといえます。次にアミダさまとはどういうお方なのか、先ほどのおかげさまに気づかせてくださるお方で、この私は多くのいのちのつながりの中で生かされて生きている真実を教えてください。私さまでした。

私は自分の都合でしかものを見ることができません。お肉をみれば、美味しいかどうかだけを考え、そのお肉も尊いいのちだったことも忘れていきます。この私はひとりで生きているのではなく、数えきれないいのちに支えられて存在していること。そのような大切なことに気づかせてくださるアミダさまだから、手を合わせて感謝の気持ちで拝むのです。